

以下、本文-----

複数施設研究用

【情報公開文書】

全身麻酔による消化器腫瘍の組織学的変化の検討

1. 研究の対象

2010 年 4 月より 2021 年 3 月までに臨床的ないし病理組織学的に悪性腫瘍の診断で、当院ないし共同研究機関で手術による摘出が行われた症例方。

2. 研究目的・方法

近年麻酔薬および麻酔法ががん手術を受ける患者の長期予後に影響するという論文が増加しています。特に静脈麻酔と比較して予後を悪化させるという報告が続いている状況です。しかしながら、がん種により麻酔薬・麻酔法とがんの進展との関係については一様ではないとされており、その差を生む要因については明らかになっておりません。腫瘍免疫環境が麻酔薬によって変化することが一因ではないかと考えられています。

そこで今回消化器腫瘍を対象として、麻酔薬・麻酔法とがんとの進展についての検討を行いたいと考えております。2010 年 4 月より 2021 年 3 月までに臨床的ないし病理組織学的に悪性腫瘍の診断で、当院ないし共同研究施設で手術による摘出が行われた症例を対象とし、病理組織学的な解析を行う予定としております。麻酔薬による腫瘍および腫瘍周囲組織の変化、予後や再発率との相関を検討します。そして、麻酔薬・麻酔法とがんの進展との相関を示す病理組織学的因子を抽出し、生検組織に適応することを目指した研究となっています。

研究期間は研究実施許可日から 2028 年 3 月 31 日としている。

利用を開始する予定日：2024 年 5 月 8 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：臨床経過、採血検査所見、麻酔経過、病理組織所見等。

試料：病理組織診断の際に作成された FFPE ブロック等。

4. 外部への試料・情報の提供

本学では外部への試料・情報の提供を行いません。共同研究機関の症例に関しては各施設の研究責任者が情報を収集し、施設内で一意の症例識別コードを付与し、症例個人を識別できる情報は削除された状態で、1 症例ごとに症例報告書に必要項目を入力いたします。電子データに関しては、本学で推奨されている web cloud を用い、本データの管理を事務

局である秋田大学で管理を行います。秋田大学へ情報の送付後各施設においては研究責任者がデータを削除します。

5. 研究組織

研究代表機関

秋田大学大学院医学系研究科 器官病態学講座 助教 小山 慧

共同研究機関

市立秋田総合病院 病理診断科 医員 提嶋真人

秋田厚生医療センター 病理診断科 科長 高橋正人

日本海総合病院 病理診断科 部長 西田晶子

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

秋田県秋田市本道 1-1-1

秋田大学大学院医学系研究科器官病態学講座 助教 小山慧（研究代表者）

018-884-6064

-----以上